

心身健全!



■プロフィール／大槻剛巳(おつき たけみ)
川崎医科大学衛生学教授
0歳:京都府福知山市にて生誕
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳:倉敷市に転居
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医学研究)
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet GH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る

コラムマガジンCAMNETの読者の皆様。Radio Camnet「心身健全!」のパーソナリティをしています。川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。

ネットラジオでは、オリジナル曲の紹介と医学医療系に係る中で、学会関係や教育に関連する話題なども含めて番組をお届けしております。

このマガジンのコラムでも、やはり、「心身健全!」さすがに曲は流せませんが、普段の大槻の生活に関連する話題を提供していく欄にさせてもらっています。

さて、今年の夏も豪雨や台風など異常気象に見舞われた日本列島でしたが、実は大槻の郷里は京都府福知山市。2013年にも花火大会(小さい頃から、そして倉敷に住み始めてからも花火大会(毎年8月15日)に合わせて帰省して・・・実家から歩いてでも行けるので・・・楽しみに行ったものです)での事故、そして台風18号による豪雨で大槻の本籍地のある地区が水没してしまったことがありました。そして今年もお盆過ぎの8月16日の深夜、ゲリラ豪雨っていうのか集中豪雨っていうのか、とにかく観測史上最大の雨量で市街地が泥水に浸かってしまいました。



丁度、真ん中辺り、中央分離帯の木々の右手側に広い空き地がありますが、大槻の実家があった「旧大槻内科医院」の敷地跡です。

生まれも福知山の犬でも、ここ50～60年、こんな被害の様子を見たことがありません。本当に大変な状況で、同級生の店舗や知り合いのレストランさんなどもいつから再開できるかという

ような暗中模索の状況だった様です。

このコラムが表示される頃には、ほぼ復旧しているとは思いますが、このところmy home townの福知山市はなかなか良いニュースに恵まれませんね。街の持つ運氣のようなものも影響しているのかも知れませんが、ここから又、明るい未来に向けて着実に歩み始めていただきたいと思っています。



一転、このマガジンは11+12月号! 季節は晩秋から初冬ですよ! 季節便りとしての紅葉です。この写真は倉敷市真備町にあります、「まきび公園」です。岡山県が生んだ二大名人(いや、カテゴリーにも寄りますけどね。B'zの稲葉さんと甲本ヒロトさん、重松清さんとあさのあつこさん(他にもいらっしゃるし、オダギリジョーさんと宅麻伸さん、星野仙一さんと川相昌弘さん、高橋大輔さんと森裕子さん・・・)である吉備真備氏と和氣清麻呂氏のうちの吉備真備氏を冠した公園です。真備町っていう地名自体が由来していますものね!。

どんな方かという、こんな方。



ちなみにこの像は紅葉が美しい「まきび公園」ではなく、倉敷市真備町の西隣の小田郡矢掛町にあります、「吉備真備宮」の横に広がる歴史公園にあります。

「まきび公園」の紅葉は本当に鮮やかでした。

そして、公園のお隣には「吉備寺」さんもあって、その境内も美しい彩でした。



ちなみに、もう一方の和氣清麻呂氏は岡山市の東の方の和氣町(ほら、こっちは地名になっています)に和氣神社があって(ここは藤公園で有名)、そこにすくくと立っています。

さらには、東京駅から丸の内側に出て皇居に向かい・・・そこから二重橋とは反対の方向・・・東へ向かってお堀端を進むと、大手門を越えて気象庁のある交差点に向かって北進! そうすると平川門の手前の処にも清麻呂氏はしっかりと立っていらっやいます。

吉備真備氏は695年生で775年没。716年(21歳だ)に遣唐留学生となり、その後、学問の力でいわば官僚として日本の政治の礎を築いた方です。



そして和氣清麻呂氏は、733年生で799年没。宇佐八幡宮神託事件での道鏡との争いがあるのですが、こちらも官僚として登り詰めた方でもあり、

また、忠臣として名高い方でもあるのですよね！



なんだか皇居横の清麻呂氏の方が貴録がある印象ですけどね。

あらら、晩秋から初冬ってことで、「まきび公園」の紅葉を紹介していたら、いつの間にか奈良～

平安時代の岡山県の生んだ二人の名士の紹介になっちゃいました。

では、最後に吉備津神社の回廊と紅葉の写真を紹介して、季節便りとしましょう。



そして、もう一つの季節便り・・・、オリジナル曲の歌詞紹介です。

帰れない季節

倅せは 雨の向こうで
密かに 微笑んでいた
あの人は まるで無邪気に

枯葉を 集めていたの

色付く街に 肩を寄せて
二人は 恋人同士さ
感じる前の 愛の世界
もう 帰れない 季節

サヨナラは 雨に流され
いつしか 忘れられたし
あの人は わけもないのに
優しく 見つめてくれた

冷たい風に 肌を合わせ
二人は 恋人同士さ
感じる前の 愛の世界
もう 帰れない 季節

作詞/作曲：大槻剛巳 1974.06.15.

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで